

具体的な実践事例③ ～三次市立みらさか学園～

みらさか学園で「単元別プロジェクト学習」をしてるって聞いたんだけど！？

既読
15:30

そうそう、今年度そういう取組をしていますよ。

15:30

何それ？なぜそういう取組をしているの？

既読
15:31

今年度の学校教育目標は「自立と共生の力をもち、主体的に学び、課題解決する児童・生徒の育成」なんですけど、その中の「自立」と「共生」を意識した取組なんです。

15:33

へえ～、どういうこと？

既読
15:33

みらさか学園では、「自立」を「自ら学び、自ら考え、自主的・自律的に行動できる」、「共生」を「違いを認め合い、他者と協働して課題解決（創造）できる」と定義していて、そういう子供を育てる具体的な方策として、「単元別プロジェクト学習」に取り組んでいるんです。

15:35

みらさか学園の先生は、『委ねる』授業と呼んでいます！

15:36

学校教育目標

自立と共生の力をもち、
主体的に学び、課題解決する
児童・生徒の育成

◆自ら学び、自ら考え、
自主的・自律的に
行動できる

◆違いを認め合い、
他者と協働して
課題解決（創造）できる

15:36

『委ねる』っていうのが気になるんだけど…

既読
15:37

そうですね！もう少し詳しく説明します。

15:37

この取組は、単元で、プロジェクトやミッションを提示して、それを達成するために子供たちが自分で単元の学習計画を作って進める学習です。

15:38

具体的な実践事例③ ～三次市立みらさか学園～

既読
15:38

自分でどんなことを決めるの？具体的に教えて！

これは、小学6年生国語の「大切にしたい言葉」という単元の学習計画表です。

15:40

「卒業文集に載せる『自分が大切にしたい言葉』ページを作ろう！」というミッションを達成するために、6時間の「学習計画」を立てるんです！

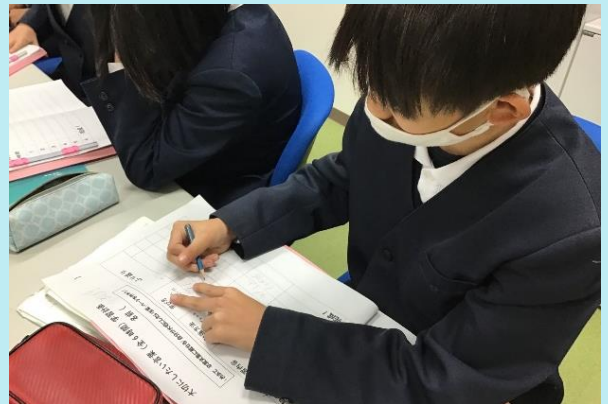
15:40

時間ごとに何をするのか、教科書やタブレットなど何を使って学習するのか、個人なのかグループなのかといったことを自分で決めて学習を進めます。

15:41

大切にしたい言葉 (全6時間) 学習計画
名前 ()
めあて 卒業文集に載せる『自分が大切にしたい言葉』ページを作ろう！

授業時間	学習内容	勉強方法 (教科書・タブレット 本など)	学び方 (全株・個人・ ペア・グループ)	振り返り
1				
2				
3				
4				
5				
6	完成!			



15:41

既読
15:42

かなり多くのことを自分自身で決めるんだね！

そう！だから先生たちは『委ねる』授業って呼んでるんです！

15:42

なるほど！先生が授業を子供に委ねて、子供たち自身で決定する。まさに『選択肢』と『自己決定』だね！

既読
15:43

そうなんです。個別最適な学びを進める上で、とても重要です。

15:44

既読
15:44

授業中はどんな様子なの？

子供たちの「学習計画」は一人一人違うから、一つの授業の中ではそれぞれで学習を進めています。

15:45

具体的な実践事例③ ～三次市立みらさか学園～



一人で辞書やタブレットで調べながら学習している児童もいれば、ペアやグループで相談しながら進める児童、先生に分からない所を聞きながら進める児童もいます。

15:46



15:47

本当に一人一人が決めて取り組んでいるね。でも作った計画通りに行かないこともあるんじゃない？

既読
15:47



もちろんあります。でもそういう経験をする事で、計画を修正したり、やり方を工夫しようとする姿が見られ、自分自身で学習を調整できるようになっていきます。

15:48

実際、最初の計画では先生に教えてもらおうとしていた児童が、学習を進めるうちに自分でできるかもしれないと感じて、自分で進める計画に修正していました。

15:49

自分で学習する力が身に付いてきているね！新学習指導要領でも言われている「自己調整力」だね！

既読
15:51



友達同士で相談し合う姿や、「分かりません」と質問してくる子供が増えたみたいです！

15:52

なるほど！学び方が分かってきたんだね！

既読
15:53

でも、ここまで自由にできると、例えば、先生が他の子供に教えていて目が届かない時に、インターネットで関係ないページを見たり、遊んだりする子供が出てくるんじゃない？

既読
15:55



実際にそういう子供がいましたよ。でも、その時、先生は気付いていましたが、あえて「指導」はしませんでした。

15:56

具体的な実践事例③ ～三次市立みらさか学園～

既読
15:56

え！？ 放っておいていいの？

あとで先生に聞いてみると、プロジェクトの期日を提示していたので、もしその児童が期日までに目標達成できなかったら、自分の学習の振り返りの中で、なぜできなかったのかを考えて、説明してもらおうと思っていたようです。

15:58

学習の責任は子供たちにもあるということですね。でも、すべてを見守るわけではないよね？

既読
15:59

先生方は、その場で指導するかどうか、一人一人の子供の実態や学習状況などを踏まえて決めています。

16:01

もちろん人を傷つけるような行為を放っておくわけにはいきません。子供の実態に応じて自分の行動に気付けるよう支援、指導することが重要だと思っています。

16:02

まさに「個に応じた支援」が大切だってことだね！

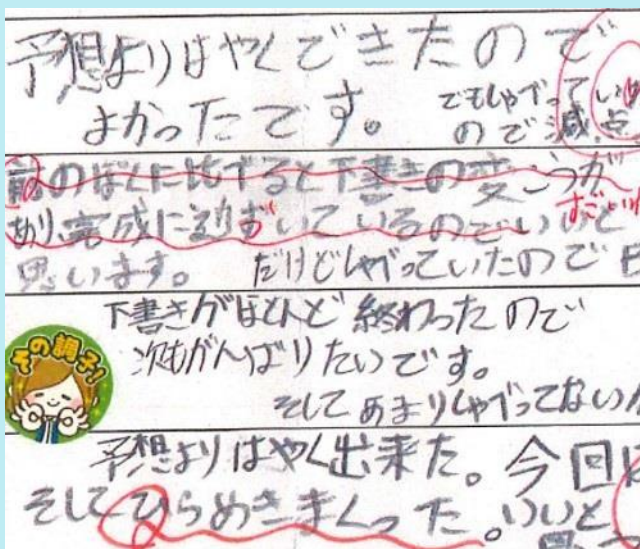
既読
16:03

そうですね。もう一つ重要なことは、子供たちは学ぶ力を持っているんだと信じることです！

16:04

これは児童の学習計画表の一部なのですが、表の端に私語についての反省が書かれています。授業が進むにつれて私語が減ってきている様子が窺えます。

16:05



16:05

具体的な実践事例③ ～三次市立みらさか学園～

既読
16:06

他に、やってみて分かったことはあるの？

実は、学校で実施している調査の結果を分析したら面白いことが分かったんです。

16:07

「思考力」や「チャレンジ精神」と強い相関があるものって何だと思いませんか？

16:08

分析前は、「学習規律」や「学習課題」と相関があると思っていたんです。

16:08

分析してみたら、「学習計画力」、「学習習慣」、「学び方の理解」が重要であることが分かったんです！

16:09



既読
16:10

子供たちに委ねることの重要性が数値でも示されたのね！

既読
16:10

ところで先生方は、どのように取組を進めていったの？

まずは、なぜこの取組をするのか、その目的について、先生方同士で対話をしました。

16:11

みらさか学園では、自立と共生の力を持ち、主体的に学び、課題解決できることを目指していました。

16:11

だから、子供たちに「自己決定」する場面を設けて委ねていくことをみんなで確認しました。

16:12

既読
16:13

目的を意識して、学校全体で共有することはとても大切だね！

具体的な実践事例③ ～三次市立みらさか学園～

教員にとって子供たちに『委ねる』ことはとても勇気のいることだったので、委ねるためには何が必要なのかを議論しました。

16:14

やる気が出る課題／学習計画・見通し／学ぶ仲間／一定のルール／適切な評価・助言・支援など、多くの意見が出ました。

16:15

それらを整理して、みらさか版「委ねる」システム作り！として、学校で重点的に取り組む内容を決めていきました！

16:16

みらさか版 「委ねる」システム作り



モチベーションの上がる
めあて 課題 問い



学習計画
(学びの進め方)



学び合い
(学びの集団)



学びの環境



教科書 タブレット
(学ぶ方法)



振り返り、ルーブリック
(学びの評価)

16:17

既読
16:19

なるほど、先生方が対話しながら作っていったんだね。

さらに、一人一人の子供の実態に応じて個別最適に対応できるよう、『委ねる』レベル感を整理しました。

16:20

プロジェクト型「委ねる」授業のイメージ

ステップ1
(これまで以上に) 選択肢, 自己決定の場面を入れた単元・授業

ステップ2
活用場面で委ねる

ステップ3
知識・技能習得場面も含め委ねる (学習計画提示)

ステップ4
知識・技能習得場面も含め委ねる (児童生徒による学習計画作成)



16:21

教科・単元の内容や、学級集団、発達の段階によって、委ねる内容や方法も変わってくるので、こういった部分を意識して、各教員、各教科で、できるところから取り組んでいます。

16:23

既読
16:24

これからの進化が楽しみだね！また色々教えてね ^^